

自己点検・自己評価

《評価とその内容》

- 5:達成している 4:ほぼ達成している 3:どちらともいえない
2:取り組みを検討中 1:改善が必要

1. 教育理念・目的等

1	理念・目的・育成人材像は定められているか	4.5
2	育成人材像は各学科の関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	
4.1		
3	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4.2
4	学校の将来構想を抱いているか	3.5

〈現状と課題〉

入学者に留学生が急に増加したこともあり、4 学校の将来構想を抱いているか についての評価が下がっている。これまでも多くの変化に対応してきた経験豊かな教職員であっても、研修や共有事項の共有拡大化、連携の強化を行い、教育活動に取り組んで行かなければならない。

2. 学校運営

5	法人の組織運営を適切に行っているか	3.8
6	学校運営のための組織を整備しているか	3.9
7	意思決定システムを整備しているか	3.5
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.5

〈現状と課題〉

学校運営は適切に行われている。業務の効率化は今後さらに検討が必要である。情報システム化については、組織自体のシステム面の効率化とそれに適応できる個人の能力向上が必要である。

3. 教育活動

9	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4.2
10	学科ごとに修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4.2
11	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4.2
12	シラバス（授業計画書）は学生が授業内容を理解しやすく、授業内容と一致しているか。	4.5
13	授業内容や指導方法が学生レベルにあうよう工夫・改善しているか。	3.9
14	未履修科目の原因分析を教員側と学生側とで実施し、対応策を講じているか。	4.2
15	学生に修了認定のための評価基準と方法を公開しており、かつ、評価が公平性・妥当性が保たれているか。	4.3
16	実習目標に沿った施設の選択及び学習環境・指導体制が整っているか。	4.5
17	実習指導者と教員の役割を明確にしているとともに、実習指導者と教員の協働体制を整えているか。	4.5
18	実習において、学生が関係したインシデント等を把握・分析しているとともに、改善策を講じているか。	4.4
19	成績評価・修了認定基準を明確化し、適正に運用しているか	4.5
20	資格・免許取得の指導体制はあるか	4.5
21	資格・要件を備えた教員を確保しているか	4.7
22	教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか	4.2
23	教職の組織体制を整備しているか	4.0

〈現状と課題〉

留学生が在籍する学科においては、理念に沿った教育課程や修業年限に応じた教育到達レベルを担保するために、教授方法の変更や多大なる工夫が必須である。そのため、当該学科の授業を担う教員は、内外問わず各自の努力と教員間のピアサポート、スーパーバイザーによる研修が必要である。

未履修科目については、教科担当と担任の連携により、未然に防ぐことが重要と考え取り組んでいるが、現在のところ事前の取り組みが功を奏していると考えられる。

外部実習先の実習指導者と教員との協働体制は確立されており、実習の達成度を高める努力がなされている。

成績評価、資格・免許取得、教員資格・要件いずれも適正に取り組み、確立されている。

4. 学生支援

24	進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4.1
25	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4.5
26	退学率の低減が図られているか	4.4
27	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	4.6
28	保護者と適切に連携しているか	4.5
29	卒業生への支援体制はあるか	3.9
30	(日本語科) 日本を理解するための支援が適切に行われているか	4.3
31	(日本語科) 入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか	4.5
32	(日本語科) 我が国の法令を遵守させる指導を行っているか	4.3

〈現状と課題〉

各学科の担任が学生の状況に合わせた個別対応や、必要時に保護者と連絡をとりながら協力体制を整え、学生を支えている。

進学・就職指導に関する学生支援の体制は整備されており、就職率は100%である。

留学生への支援、法令遵守の指導は適切に行われている。その結果、在校生や卒業生の弟妹入学が増加している。現状に胡坐をかきことなく、尽力する。

5. 学習成果

33	就職率の向上が図られているか	4.5
34	資格・免許取得率の向上が図られているか	4.5
35	卒業生の社会的評価を把握しているか	3.5

〈現状と課題〉

就職率の100%の継続のため、就職に関する情報提供、アドバイスを個別対応で行っている。

領域の専門性を生かした学習と各教員の協働により、介護福祉士国家試験合格率を上げようとしている。今後は、留学生を含めた対策が必要となり、学生の状況に合わせた学習指導と工夫が課題である。

卒業生の社会的評価については、さらなる把握が必要である。

6. 教育環境

36	教育上の必要性に対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	3.6
37	防災に対する組織体制を整備し、適切に運営しているか	3.6
38	学内における安全管理体制を整備し、適切に適用しているか	4.1

〈現状と課題〉

教育上に必要な施設・設備・用具等が整備されている。現場に出たときに困ることがないように、物を大切に扱うことを学生に意識させている。

防災に対する組織体制は整備されているが、避難訓練及び防災訓練実施後の振り返りを重視し、改善点を見出すことが必要である。

7. 学生募集活動

39	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4.5
40	学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか	4.4
41	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4.6
42	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4.5
43	入学辞退者に対し授業料等について適切な取り扱いを行っているか	4.8

〈現状と課題〉

広報部を中心に、学校訪問やオープンキャンパス等で学生募集活動を適切、効果的に行ってはいるが、今後は一部の教職員ではなく、教職員全員が広報部員として学生募集に走らなければならない。

8. 財務

44	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.4
45	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.6
46	財務について会計監査が適正に行われているか	4.0
47	財務情報公開の体制整備はできているか	3.9

〈現状と課題〉

適切な予算を策定し、予算管理を進めながら実績値との差異を分析するなど、月次での管理を実施している。

9. 法令等の遵守

48	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4.5
49	個人情報に関し、その保護のための対策がとられている	4.5
50	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に務めているか	4.1
51	自己点検・自己評価結果を公開しているか	4.1
52	関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか	4.5

〈現状と課題〉

法令及び個人情報管理規程に則り、学内情報の管理を徹底している。

10. 社会貢献

53	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3.6
54	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	3.6

〈現状と課題〉

学校の施設を活用した社会貢献も行い、外部講義等も積極的に行っている。

福祉に携わる学校として、社会貢献ができるよう今後の状況や変化に合わせて、ボランティア活動を積極的に推奨し、支援体制を整備していかなければならない。コロナの影響が残っており、ボランティアの要請が減少したが、今後本校からも働きかけを行い、学生が社会経験を積めるよう支援する。